

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月26日

計画の名称	地域の基幹産業を支え地方創生を実現するみなとづくり（重点）（第2期）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	長崎県												
計画の目標	長崎県は半島・離島から成り立ち、海を介して広範囲に生活・観光・産業の拠点が広がっている。このような特性をもつ長崎県下において交通ネットワークの拡充は重要であることから、その利便性・快適性・安定性の向上を図り、県内はもとより県外との交流機能を強化する”みなとづくり”によって、県内の多様な地域基幹産業を活性化させ地方創生の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,935	A	3,905	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.76	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R7	R9
1	各港湾における安全で利便性の高い港湾施設の整備率を9.1%（R5）から100.0%（R9）へ増加させる。 安全で利便性の高い港湾施設の整備率を算出する。 安全で利便性の高い港湾施設の整備率 = 整備済み港湾施設数 / 整備が必要な港湾施設数	9%	9%	100%
2	港湾緑地の整備率を0.0%（R5）から100.0%（R9）へ増加させる。 港湾緑地の整備率を算出する。 港湾緑地の整備率 = 整備済み港湾緑地面積 / 整備が必要な港湾施設数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	岸壁(-4.5m)	延長 L=60m	長崎港・松が枝地区					800	2.0	-	
	A02-002	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	岸壁(-5.5m)	延長 L=110m	長崎港・松が枝地区					100	2.0	-	
	A02-003	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	道路(C)	延長 L=5.5×160m	長崎港・松が枝地区					50	2.0	-	
	A02-004	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	浮棧橋	1基	長崎港・松が枝地区					780	2.0	-	
	A02-005	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	泊地(-3.0m)	面積 A=1,000m2	長崎港・松が枝地区					50	2.0	-	
	A02-006	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	浮棧橋	1基	厳原港・厳原地区					310	8.1	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	駐車場(2)	面積 A=2,200m2	厳原港・厳原地区						70	8.1	-
	A02-008	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	駐車場(3)	面積 A=6,400m2	厳原港・厳原地区						450	8.1	-
	A02-009	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	緑地(緑地)	面積 A=4,000m2	厳原港・厳原地区						150	8.1	-
	A02-010	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	緑地(用地)	面積 A=4,000m2	厳原港・厳原地区						75	8.1	-
	A02-011	港湾	離島	長崎県	直接	長崎県	地方	建設	浮棧橋	1基	比田勝港・比田勝地区						800	9.7	-
	A02-012	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	緑地	面積 A=9,000m2	長崎港・皇后地区						90	1.2	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-013	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	緑地	面積 A=6,000m2	長崎港・小ヶ倉 柳地区						180	1.2	-
											小計						3,905		
											合計						3,905		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	長崎港客船受入環境整備	テント設置1式	長崎港・常盤出島地区						20	-	
		港湾事業（A02-002）と一体的に実施することで、クルーズ客船の受入体制を充実させ、外国人観光客の利便性・快適性の向上を図る。																	
	C02-002	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要	建設	観光施設情報等提供事業	案内板設置1式	長崎港・常盤出島地区						10	-	
		港湾事業（A02-002）と一体的に実施することで、観光客等の利用者への観光施設などの情報提供を図り、観光地としての魅力を高める。																	
											小計						30		
											合計						30		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	385				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	385				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	81				
翌年度繰越額 (f)	304				
うち未契約繰越額 (g)	15				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	3.89				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域の基幹産業を支え地方創生を実現するみなとづくり（重点）（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題と整備計画の目標が適合している	○
I. 目標の妥当性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている	○
I. 目標の妥当性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性がある	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民・民間事業者・他機関等の多様な主体との連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 事業実施のための環境整備が図られている	○

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金) (1 / 2 ページ)

計画の名称	地域の基幹産業を支え地方創生を実現するみなとづくり (重点) (第2期)		
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)	交付対象	長崎県、対馬市
	【改修】 長崎港	A02-001~005	岸壁、道路、浮棧橋、泊地
	【環境】 長崎港	A02-012~013	緑地
	【効果促進】 長崎港	C02-001~002	待合所、案内板

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金) (2 / 2 ページ)

